

本年度の結果

	国語A	国語B
阿蘇市	68	54
全国	70.7	54.7

国語A	話す・聞く	書く	読む	言語
阿蘇市	80.4	68.5	71.5	65.4
全国	90.8	73.8	74.0	67.0

  

国語B	関心意欲態度	話す・聞く	書く	読む
阿蘇市	34.8	62.5	44.9	54.6
全国	33.2	64.6	45.6	50.8

本年度の主な結果について

- 国語Bの「読むこと」は、全国を上回っている。
- 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
- 「話すこと・聞くこと」に課題があり、文の中で正しく使う漢字にも課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 相手や目的に応じて、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す(A1)
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う(A6)
- 文の中で漢字を使う(消毒:A8ウ)

【課題】

話すこと・聞くこと

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる(B1三)

書くこと

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える(B2一)
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く(B2二)

読むこと

- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む(B3一)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く(A5)
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使う(A7)
- 文の中で漢字を使う(積極的:A8才)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「新聞を読んでいる」は、全国を大きく上回っている。
- ノートに学習の目標(めあて、ねらい)とまとめを書いている。

【課題】

- 発表するとき、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する。
- 話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりする。
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りをする。
- 「書くこと」の指導改善については、文章を書く際に、目的や意図に応じ、複数の資料から適切な内容を取り上げて詳しく書く指導の充実を図る。
- 「話す・聞く」の指導改善については、相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめたり、どこが共通するのか、どのような点が違うのかなどを具体的に明示しながらまとめて話したりできるように指導する。

【日常的な取組】

- 考えを表現する際は考えの根拠と理由も書かせたり、辞書で調べる習慣や読書、新聞を読む習慣を養ったりする。速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業と連動した家庭学習になるよう、宿題や予習・復習の内容を工夫する。